

令和元年度全国学力・学習状況調査に向けた取組の充実 ～令和元年度鹿児島学習定着度調査(学力調査)結果に見られる課題克服に向けて～

令和2年1月に県内の小学校5年生、中学校1・2年生を対象に「鹿児島学習定着度調査」が行われました。

右の表は、当教育事務所管内の小・中学校の結果を各教科ごとに「基礎・基本」、「思考・判断」と「全体」の3つに分けて平均通過率を示したもので、全般的には良好な状態と言えます。

しかし、問題別通過率等で分析してみると、依然として「文の前後の関係を正しく捉え、叙述に即し、内容の要旨等をつかみ、自分の考えを述べること」や「思考や判断の根拠を論理的に説明する」こと等に課題が見られます。

私たち教師は、常に自分の授業を見つめ、改善することが必要です。そして、社会の変化は急速に進んでいます。学習指導要領が改訂された意味をしっかりと捉え、児童生徒の持てる力を最大限伸ばして欲しいと思います。

来年度4月に入るとすぐに全国学力学習状況調査が行われます。地区一丸となって教育活動に取り組んでいきましょう。

(○:県平均を上回っている, ▼:県平均を下回っている。)

教科	問題別	小学5年			中学1年			中学2年		
		県	地区	比	県	地区	比	県	地区	比
国語	基礎・基本	76.6	76.3	▼	82.8	84.1	○	78.1	79.6	○
	思考・表現	68.4	70.0	○	73.6	75.8	○	66.4	66.9	○
	全体	73.6	73.9	○	79.6	81.2	○	74.5	75.6	○
社会	基礎・基本	73.6	73.7	○	67.2	69.6	○	59.7	62.3	○
	思考・表現	69.0	70.1	○	60.1	64.5	○	64.6	61.8	▼
	全体	72.3	72.6	○	64.9	67.9	○	61.2	62.1	○
算数 数学	基礎・基本	79.9	83.2	○	79.2	80.1	○	65.9	65.5	▼
	思考・表現	69.7	70.9	○	54.6	54.4	▼	50.9	53.1	○
	全体	76.7	79.3	○	71.3	71.8	○	60.7	61.2	○
理科	基礎・基本	87.5	90.3	○	71.5	72.8	○	61.6	63.5	○
	思考・表現	70.2	71.4	○	51.3	52.5	○	50.7	52.4	○
	全体	81.2	83.4	○	64.8	66.0	○	58.0	59.8	○
英語	基礎・基本				69.6	70.3	○	65.2	68.1	○
	思考・表現				64.1	64.9	○	51.6	55.3	○
	全体				67.9	68.6	○	61.0	64.2	○

日置・鹿児島郡地区教育論文・教育実践記録集「波動」

今年度も地区内の小・中学校の先生方から、237点と多数の教育論文・教育実践記録が寄せられました。学校経営、学年・学級経営、教科・領域等、児童生徒の実態に基づき、課題を明確にしながら、計画的・継続的に日々の実践に取り組んでいる内容が多くみられました。

なかでも、「波動」に掲載されている10点の実践事例は、今後の教育実践に多くの示唆を与えてくれるものばかりです。また、本年度の地区研究協力校による研究実践資料も5点掲載されています。掲載された内容や方法を積極的に活用して、各学校における指導体制の充実や指導方法の改善に努めていただきたいと思います。

「体力アップ!チャレンジかごしま」 ～仲間と楽しく運動しよう～

本県では、運動習慣の育成や体力向上を図るために、「体力アップ!チャレンジかごしま」を推進しています。仲間と楽しく集団で協力し合いながら運動に取り組むことで、好ましい人間関係や社会性も育まれます。これからも、積極的にチャレンジしながらスポーツに親しむ習慣の育成を図りましょう。

【特別賞】 **十島村立悪石島小学校** (3年連続学校賞受賞 H28~H30)

【年間ランキング1~3位に輝いた学年・学級】

1位: **悪石島小6年** (レッツ短縄跳び, 馬跳びピョンピョンピョン)

2位: **荒川小1年** (レッツ短縄跳び), **生福小6年** (10人でチャレンジ)

3位: **上市来小2年** (一輪車でGO!), 馬跳びピョンピョンピョン), **竹島小4年** (レッツ短縄跳び)

悪石島小6年 (2人でさっさっ)

～本地区内のランキングも鹿児島教育事務所ホームページに掲載中です!～

第67回県下一周市郡対抗駅伝競走大会

2月15日（土）から19日（水）の5日間にわたって、「第67回県下一周市郡対抗駅伝競走大会」が開催されました。

日置チームは、48年ぶりの初日日間優勝をはじめ、多くの見せ場をつくり、白熱したレースを展開していきました。

総合3位、区間賞15個獲得、前回大会比47分57秒短縮（躍進3位）という好成績を収め、日置は熱く盛り上がりました。



【48年ぶりの初日日間優勝】



【最終日もトップで見事な総合3位】

第33回県地区対抗女子駅伝競走大会

1月26日（日）、早春の霧島路を駆け抜ける「第33回鹿児島県地区対抗女子駅伝競走大会」が開催されました。

今年はBクラス優勝を目標として、練習を積み重ねてきました。1区はトップで襷をつなぎ、その後も各選手の力走によって、見事にBクラス優勝（5位）を果たしました。チーム一丸となったすきをつなぐ姿に、たくさんの方の感動をもらいました。



【日置の風をおこし5位でゴール】



【Bクラス優勝おめでとう】

写真提供【日置地区体育協会事務局】

涼風

「リスペクト」

指導主事 高味 修一郎

JFA（日本サッカー協会）は、リスペクトの重要性を認識し、常に全力を尽くしてプレーすること、そしてそれはフェアプレーの原点であるのとらえ、対戦チームのプレイヤーやレフェリーに、友情と尊敬をもって接することを大切にしている。

リスペクトの精神は、スポーツだけではなく学校においても重要である。子供たちに真正面から全力で向き合い、教師同士が仲間を大切に思い、チームとしてお互いに尊敬の気持ちをもって教育活動を展開することで、信頼される学校づくりへと繋がっていく。

同時に、保護者を尊敬する気持ちも大切である。教師と保護者は役割は違うが、子供の幸せを願う気持ちは同じであり、対等な関係であるべきだと思う。多くの保護者は、深い愛情をもって子供に接し、一生懸命に親の務めを果たそうとしている。大切なことは、子供の幸せのためにどうすればよいのかを一緒に考えている姿勢であり、子供の成長を共に喜び合える関係性だと思う。

教育は人としての温もりがあってこそ成り立つ。互いを大切に思い、心を通わせ、子供たちの成長に寄り添える教師でありたい。